

愛サポだより

vol.12 令和3年7月発行

発行者：一般社団法人愛知県知的障害児者生活サポート協会 理事長 川崎純夫

令和3年度事業計画

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、社会生活や経済活動に大きな影響を及ぼし、本会の活動に関しても感染状況の動向を見ながら慎重に進めて行くこととなります。昨年度来、理事会や研修会などはオンラインでの開催としたが、今年度に関しても同様な対応も視野に入れながら事業を進めて行きます。

生活サポート総合補償制度は、障害を持った方の高齢化や障害の多様化により怪我や疾病のリスクが増す中、益々その必要性が高まっています。昨年度より新たな料金体系に変更となったが、会員数は順調に伸び本年度内に7,200名の加入者を見込んでいます。

事業に関して、文化活動としては昨年度中止となった「ふれあいアート展」は、コロナ感染の状況により開催の可否を判断します。また、「ふれあいアートBOX」を通じたアーティスト支援を協賛企業様とともに引き続き実施し、障害者作品を通じた障害者理解の促進とアート雇用や作品使用により企業や社会とをつなぐ接点としたいと考えております。

スポーツ支援の関係では、スポーツ教室の開催、全国障害者スポーツ大会の参加者支援を行い、スポーツ振興を図って行きます。

研修・広報では、会報の発刊、家族向け研修会の開催、また翌年度の設立20周年に向け記念事業の準備年度として企画を進めて行きます。

権利擁護の関係では、法人後見事業を継続し、後見実務や相談事業等を実施します。また、スタッフのフォローアップを兼ねた実務者研修を開催予定であります。

協会事務局では、全国サポート協会の状況や厚労省からの情報等をタイムリーにお伝えするほか、イベント情報などもホームページを通じて配信していきます。

以上のように、生活サポート総合保障制度と各種活動を通して、会員の皆様の安心生活へのサポート事業を一層進めて行きます。



令和3・4年度 一社) 愛知県知的障害児生活サポート協会 役員名簿

役職名	役員名		所属委員会
理事長	川崎 純夫	(サンフレンド)	統括・文化活動委員会顧問
副理事長	宮路 傳	(たつき福社会)	権利擁護委員会委員
理事	宮路 勝美	(くるみ会)	スポーツ振興委員会委員長
	田中 友久	(県サポ協)	事務局長・権利擁護委員会委員長
	磯村 有吾	(あじま作業所)	研修・広報・周年行事検討委員会委員長
	都築 重喜	(相和福社会)	権利擁護委員会委員
	井端 猛	(藤花荘)	文化活動委員会委員長
	加藤 久雄	(小原寮)	文化活動委員会委員
	川口 真史	(すまいる)	研修・広報・周年行事検討委員会副委員長
	河合 幹夫	(つつじ寮)	スポーツ振興委員会副委員長
	加藤 和延	(まゆ)	文化活動委員会委員
	濱 敦里	(豊橋市福祉事業会)	文化活動委員会副委員長
	北村 榮章	(よつ葉の家)	研修・広報・周年行事検討委員会委員
	熊谷かの子	(わらび)	文化活動委員会委員
	監事	阪田 征彦	(障がい者支援施設むもん)
岩田 元		(タックスワン中部)	権利擁護委員会委員

各種サポート事業のご案内

権利擁護委員会

法人成年後見業務を中心に、権利擁護関係の研修会などを開催予定です。後見業務は、愛知県全域を対象に、現在40名の方の成年後見を実施しています。後見スタッフは全員が社会福祉士の資格を持ち専門研修を受けたプロ集団です。法人後見+専門職後見という安心・安全性の高い支援を行うことをモットーに活動しています。権利擁護研修は7/14にオンラインにて実施いたします。

スポーツ振興委員会

コロナ禍で、なかなか開催できなかったフライングディスク教室ですが、令和3年11月「初級フライングディスク教室」開催予定です。今後も、各種運動教室やソフトボール大会支援なども考えていきたいと思っております。



研修委員会

令和3年度は、会員ご家族を対象とした権利擁護・相談支援等の講演会を令和3年後半に開催予定です。また、来年度の法人設立20周年に向け、記念企画を検討中です。日程や内容等が固まりましたら、改めてご案内する予定です。



文化活動委員会

第13回 ふれあいアート展
開催要項

目 的

知的障がい及び発達障がいのある方が、日ごろより作成されている作品を集め、展覧会を開催することで新たな才能が開花され、生き甲斐と自信につながることを期待します。また、この作品展を通して障がいのある人、無い人のバリアをはずした交流の場をつくり、ホームページ上で作家紹介を行うことでアート雇用につなげるなど、社会づくりの一助となることを目的として開催したいと思います。

期 間

令和3年11月24日(水)～11月28日(日)
開館10時00分～閉館17時00分まで(最終日11/28は16時まで)

会 場

電気文化会館 東ギャラリー 名古屋市中区栄2-2-5
TEL (052) 204-1133

応募作品

絵画・書道・写真・オブジェ(陶芸含みます)
※輸送・取り扱いには十分慎重を期しますが破損しやすい作品は不可

応募資格

知的障がい・発達障がいのある方
※サポート協会保険の非会員の方も申し込めるようになりました。ただし、展示スペースに限りがありますので、応募者多数の場合は、選考して展示させていただきますのでご了承願います。

応募規定

絵画は、F0号(18cm×14cm)～F30号(72.7cm×91cm)[額に入れて下さい]、書道は、葉書大(10cm×14.8cm)～半切(35cm×135cm)[裏、台紙をつけて下さい。表装可]、写真は、4切(25.4cm×30.5cm)～全紙(45.7cm×56cm)、組写真2枚可[パネル貼るか額に入れて下さい] オブジェは、1人で運べる大きさで1m×1m以内でお願いします。

応募申込

[募集期間] 令和3年9月29日(水)～令和3年10月1日(金)
[応募方法] 別紙「出品申込書」に所定要項を記入の上、藤花荘までFAXまたは郵送下さい。「出品申込書」はサポート協会のHPからダウンロード出来ます。

作 品

作品は出品料を添えて電気文化会館 東ギャラリーまでお持ち下さい。
[作品受付] 令和3年11月22日(月)13時～17時

ふれあいアートBOX あいち

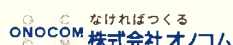
創設の経緯

ふれあいアート展は、愛知県知的障害児者生活サポート協会の会員を中心に開催してきましたが、現在は会員外の知的障がいや発達障がいのある方々から、広く公募し、展覧会を開催しています。その中から優秀作品を選出し各関係団体より表彰するという流れで活動を行ってきました。

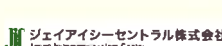
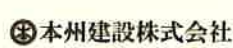
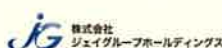
ふれあいアート展 10 回を期に、障がいのある方の素晴らしいアートを多くの方に知っていただきたいということで「ふれあいアートBOXあいち」を創設することになりました。創設にあたり協力してくださったスポンサーは現在 13 社です。コンセプトは、「あいち」の企業が「あいち」のアーティストを応援するというものです。



Alpen Group



Gorilla web



目的とアート雇用

「ふれあいアートBOXあいち」は、ふれあいアート展で入賞された方のアート作品を中心にホームページに登録し公開することで、ノベルティ商品のデザイン画やパンフレット等に使用したい方、また、作品を購入したい方等と作者（作家）の仲介役となることを目的とします。そして、さらには「ふれあいアートBOXあいち」の登録者からアートを通して就労するアート雇用につながっています。

アート雇用とは、在宅または作業所に通っている方が、自宅で創作活動を行うことで会社と雇用契約を結び、定期的に報告するという変則的な在宅勤務の雇用形態です。このアート

雇用は、愛知県障害福祉課と愛知労働局、ハローワークが共同して、全国に先駆けて進めている取り組みです。現在、愛知県では 14 名の方が活躍しています。

企業側のメリットとしては、障がい者雇用としてカウントされることと、障がい者を応援していることで社会貢献により企業のイメージアップに繋がります。

さらに、作品を会社の店舗に飾ったりパンフレットに使用するなど会社の広告塔としてお互いがウィン・ウィンの関係になることをめざすものです。



作家名 小島一志
所属：(株) シスムエンジニアリング

ふれあいアートBOX 登録作品紹介



フクロウの森
小河 勝太郎



太陽と月
岩堀 里美



セントレア
杉浦 一幸



老海
長井 隆幸



手洗い犬ゴッシーたち
市岡 正



シーサー
小寺 良和



夢を食べる猫
瀬戸東 満



熊本城
山本 糧二



ミニクーパー
長谷 康



顔・顔・顔
翁 信枝



ニワトリ
畑 博之



いろいろ
高柳 泰次



名古屋城
内藤 健次



春の花
谷 富貴子



おでかけでの一枚
清水 晟陸



バスでいく
中澤 直



サファリの動物たち
川部 浩



くらげ
水谷 隆宏



僕としば犬
浅井 智之



ドゥオモ大聖堂
山本 良比古



手筒花火
豊橋ちぎり寮 美術クラブ



淡水魚
小島 一志



SHIMIZUYA GREEN
升山 和明



生活サポート総合補償制度担当代理店
ジェイアイシーセントラル株式会社のグループ会社

未来のあかり

大きなあんしんを、 より丁寧にお届けします

障がいのある方本人とそのご家族が抱える
一番の心配事である「親亡きあと」
親亡きあと、親の支援なきあとへの準備を支援します。



障がいのある方 と そのご家族

各種ご相談や手続きを一つの窓口で。

未来のあかり

専門家がそれぞれのご家族に合った制度を
アドバイスいたします。

民事信託	成年後見	任意後見
資産形成	障害年金	相続対策

障がいのある方本人とそのご家族が抱える一番の心配事である
「親亡きあと」

親亡きあと、親の支援なきあとへの準備を支援いたします。

大きな“あんしんを、より丁寧に”お届けします。

民事信託、成年後見制度、障害年金、資産形成、相続対策など

皆様の想いを形にするコンシェルジュサービスをご用意し、

それぞれのご家庭の状況に合わせて、専門家がアドバイス。

支援を必要とする人と支援者(プロフェッショナル)を

繋ぐハブとなり、ワンストップサービスを実現いたします。

未来のあかり 株式会社

所在地

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄5-28-19
アルティメイトタワー栄Vビル9F (ジェイアイシーセントラル内)

電話番号

0120-939-877



WEBにて
「民事信託」や「障害年金」など
投資の専門家による
コラム配信中

編集後記

昨年2月頃より始まった新型コロナウイルス感染症。未だに完全終息の目途は見えてきません。感染対策のため、巣ごもり生活が続く中、皆さんどのようにお過ごしでしょうか。我が家では、昨年9月に段ボールに閉じ込められゴミ捨て場に、捨てられていた子猫を保護しました。どこにも出かけることができない状態の中、我が家の癒しになりました。

さて、令和4年10月には、愛知県知的障害児者サポート協会創設20周年を迎えます。ワクチン接種が順調に進み、大勢の方をお迎えして盛大に20周年記念式典が開催できることを切に願っております。



広報委員長 川口 真史

一般社団法人

愛知県知的障害児者生活サポート協会

〒440-0837 豊橋市三ノ輪町字本興寺41番地1第一丸中ビル

TEL : 0532-39-3030 FAX : 0532-87-4334

Email: info@aichi-life-support.jp